

## VI うるおいある快適な空間を将来につなぐまち

### 公共交通活性化推進事業（予算額：約1億2211万円）

路線バスは、市民生活の足として重要な役割を担っていますが、自家用車普及などにより、バス利用者が減少し、路線の廃止や便数が減るなど、ますますバスが利用しにくい状況になりつつあります。

本事業では、バス事業者や関係機関等と連携を図りながら、路線バスの利用者を増やすための取り組みを行うとともに、沖縄市循環バスと称して市内のコミュニティバスを運行しており、市民の生活利便性の向上を図っていきます。



## VI うるおいある快適な空間を将来につなぐまち

### 公園整備事業（予算額：約1億2133万円）

公園は、市民の憩いの場だけではなく、自然との触れ合いや自然環境の保全、地震などの災害時における避難場所としての役割があります。そのため、安全・安心で快適にすごせるまちづくりを目指した公園整備をおこなっています。

令和2年度は、比屋根公園の実施設計業務を行います。



### 東部海浜地区開発事業（予算額：約4130万円）

スポーツコンベンション拠点の形成に取り組むとともに、県内最大級のビーチを活かしたビーチフロント観光拠点の創出を目指します。また、PRイベントによる事業周知を図っていきます。

